

先進技術を活用した石油コンビナート災害対応に関する検討会の概要と進め方（案）

1 背景

- 南海トラフ地震等の大規模災害の発生が懸念されており、コンビナートにおいても甚大な被害が予想されている。
- その際発生するコンビナート災害においては、災害の実態を迅速かつ正確に把握し、限られた人員、資機材を活用して、正しい状況判断に基づいた災害対応が特に求められる。
- しかし、ベテラン職員の退職により、災害対応のノウハウの継承が困難になっている。
- 一方、正確な情報を迅速に収集する IoT、3D解析技術や、的確な状況判断を行う AI 技術等の先進技術の発展はめざましく、さまざまな分野で保安対策、ヒューマンエラー対策に活用されつつある。

2 目的

石油コンビナート災害における事業所、消防機関の災害対応を、より安全で効果的に行うため、特に情報の収集、分析、状況判断に先進技術を活用することについて、以下の2点を目的に検討する。

- 先進技術を活用したコンビナート災害対応の未来像の提示
- 実現可能なアプリケーション、防災資機材等の提案

3 検討会の進め方

（1）主な検討項目

第1回	・事業者委員によるプレゼンテーション（知見の共有） ・コンビナート災害対応の現状について（知見の共有） ・消防本部等へのアンケート実施方法について ・海外や他業種における先進技術活用事例の調査について
第2回	・消防本部等へのアンケート結果について ・海外や他業種における先進技術活用事例の調査結果について ・先進技術を活用した災害対応支援ツールのニーズについて ・次世代型のコンビナート災害対応について
第3回	・先進技術と既存のシステム等の連携について ・実現可能な災害対応支援ツールの検討 ・報告書の方向性について
第4回	・報告書について ・次年度以降の検討の方向性について

（2）スケジュール

- 第1回 令和元年8月7日（水）
- 第2回 令和元年11月上旬（予定）
- 第3回 令和元年12月中旬（予定）
- 第4回 令和2年2月上旬（予定）